

紙幣計数機

EXC-305

取扱説明書

目次

目次.....	1
はじめに.....	2
付属品について.....	2
安全上のご注意.....	3
警告.....	3
注意.....	5
各部の名称と説明.....	6
ご使用する前に.....	8
電源の投入方法.....	8
セットする紙幣について.....	8
紙幣のセット方法について.....	9
厚み調整ネジで紙幣挿入口を調整する.....	9
ご使用方法.....	10
通常計数モード.....	10
バッチ計数モード.....	11
加算処理機能を有効にする.....	11
搬送速度の設定を変更する.....	12
搬送速度を 1300 枚/分にする.....	12
自動搬送機能を有効にする.....	12
設定.....	13
各種設定を変更する.....	13
各種設定を初期化する.....	15
エラーコード.....	16
メンテナンス.....	17
クリーニング方法.....	17
紙幣が内部に詰まってしまった場合には.....	18
仕様.....	18

はじめに

この度は、紙幣計数機 EXC-305 をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず本書「取扱説明書」をよくお読みになり、保証書と共に大切に保管してください。

付属品について

本製品に付属されている内容は次の通りになります。ご使用前に必ずご確認ください。

万一に、付属品に不足があった場合には、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- 電源コード
- 取扱説明書(本書)
- 保証書

安全上のご注意

製品を安全にお使い頂くため、また使用される方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい内容を記載しています。

表示の説明

	禁止	してはいけない(禁止)内容です。
	強制	必ず行なって頂きたい(強制)内容です。
	情報	気を付けて頂きたい(注意喚起)内容です。

警告

人が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

☆電源コードについて

	付属の電源コード以外は使わないでください。 また、100V のコンセント以外に接続しないでください。過熱、発煙、故障の原因となります。
	濡れた手で触らないでください。 感電の原因となります。
	コンセントから電源プラグを抜く場合、電源コードを引っ張らないでください。また、電源コードを無理に曲げたり、上に重い物を置いたりしないでください。発火、感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。 また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。
	分解、改造したりしないでください。 火災、けが、感電、故障の原因となります。
	外部接続端子や電源コードなどの金属端子部分に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。火災、故障の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 火災、発火、発熱、破裂、故障の原因となります。
	水などの液体がかかった時には、電源プラグを抜いてください。 発火、過熱、発熱、感電、誤動作の原因となります。
	ご使用する場合は、電源コードのアース線を、接地されているアース端子に接続して使用してください。 感電、誤動作の原因となります。

☆設置,使用場所について

	風呂場などの水のかかる場所で使用しないでください。 また、水に濡らす等して使用、放置しないでください。火災、感電の原因となります。
	本製品や付属の電源コードに熱器具に近づけないでください。 火災、感電の原因となります。
	幼児の手の届く場所には設置しないでください。 けが、故障の原因となります。

☆使用について

	本製品を分解または改造しないでください。 火災、けが、感電、故障の原因となります。
	本製品内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。 火災、感電、故障の原因となります。万一異物(金属、液体、可燃物等)が本製品内部に入った場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになられた販売店に連絡してください。
	本製品や電源プラグには濡れた手で触らないで下さい。 感電の原因となります。
	本製品を落下または破損した場合、火災、感電、故障の原因となる場合があります。万一落下または破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになられた販売店に連絡してください。
	雷が鳴り出したら、付属の電源コードや本製品には触れないでください。また、周辺機器の接続等をしないでください。感電の原因となります。
	本製品が発熱、発煙、異音、異臭などの異常が起きた場合、火災、感電、故障の原因となります。 万一異常が起きた場合、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになられた販売店に連絡してください。
	本書に記載されていない操作はしないでください。 けが、故障の原因となります。
	本製品を移動させる場合、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。 火災、感電の原因となります。
	長時間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災、感電、故障の原因となります。

☆お手入れについて

	本製品を清掃する場合、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。 感電の原因となります。
---	---

注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

☆電源コードについて

	使用しない時は必ずコンセントから電源プラグを抜き、使用する時は電源プラグがきちんと接続されているか確認してください。故障の原因となります。
	抜け防止機構のあるコンセントを使用する場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

☆設置、使用場所について

	傾斜、段差、振動のある場所、極端な低温の場所、または磁気を発生する製品の近くへの設置はしないでください。誤搬送、誤識別の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所、高温になる場所には、保管しないでください。故障の原因となります。
	直射日光の強い場所や炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しないでください。変形、故障の原因となります。

☆使用について

	紙幣計数中は紙幣には触れないでください。誤搬送、誤動作の原因となります。
	挿入口を塞がないでください。誤搬送の原因となります。
	本製品をたたいたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
	ホッパー開ける場合には、内部に手指等を挟まないように十分に注意して行ってください。怪我の原因となります。
	ホッパー及びスタッカーに規定の枚数以上、紙幣を置かないでください。誤動作や劣化の原因となります。

☆お手入れについて

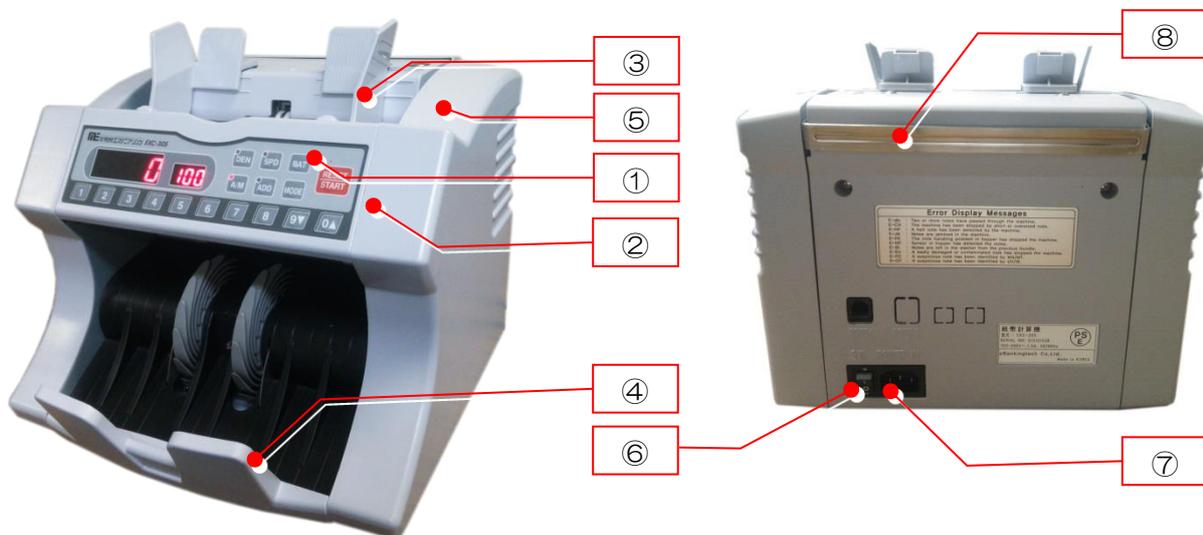
	清掃は乾いた柔らかい布を使用してください。また、水または中性洗剤以外を使用して拭いた場合、本製品樹脂部分の変形やひび割れ、印刷が消えたり、色があせたり、故障の原因となります。
---	---

☆その他注意事項について

	一般の電話機やテレビ、ラジオから離れた場所で使用してください。ノイズの原因となります。
	本製品を使用する事により計数物が破損した場合、弊社では一切保障致しません。また、計数した結果について誤りがあった事により発生した被害についても一切保障致しません。
	本製品の計数結果により発生した被害や損害について、当社では一切責任を負いません。
	本書に掲載の、文章、イラスト、写真、表等は、全て著作権法により保護されています。一部または全部を無断で複写、複製、転載などを行うことは禁じられています。

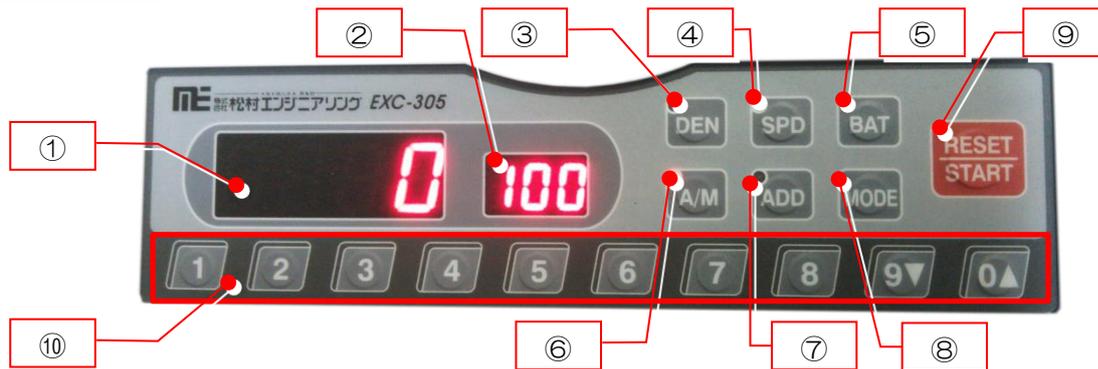
各部の名称と説明

本体



	名称	説明
①	コントロールパネル	操作や設定を行うパネルです。
②	ホッパー	計数する紙をセットする場所です。
③	ホッパーガイド	計数する紙の長さに合わせ左右に動かすガイドです。
④	スタッカー	計数された紙がストックされる場所です。
⑤	厚み調整ネジ	計数する紙の厚みを調整する事ができます。
⑥	電源スイッチ	電源を ON/OFF します。
⑦	電源インレット	付属の電源コードを接続します。
⑧	ハンドル	本製品を持ち運ぶためのハンドルです。

コントロールパネル



	名称	説明
①	計数表示部	計数合計枚数を表示します。加算処理機能が有効の場合は、前回の計数結果に加算した計数枚数を表示します。 自 バッチ計数モードにて、一度に計数した紙幣がバッチ枚数以下の場合については加算処理を行わず、前回の計数結果に戻ります。
②	バッチ表示部	バッチ枚数を表示します。 計数した枚数がバッチ枚数になると機械を一旦停止します。
③	DENボタン	計数速度を 1300 枚/分に変更するボタンです。 詳しくは 12 ページを参照してください。
④	SPD ボタン	計数速度を変更するボタンです。 詳しくは、12 ページを参照してください。
⑤	BAT ボタン	バッチ計数モードを無効またはプリセット枚数に設定するボタンです。 詳しくは 11 ページを参照してください。
⑥	A/M ボタン	自動搬送機能の有効/無効を選択するボタンです。 詳しくは、12 ページ参照してください。
⑦	ADD ボタン	加算処理機能の有効/無効を選択するボタンです。 詳しくは、11 ページを参照してください。
⑧	MODE ボタン	設定モード移行するボタンです。 詳しくは 13 ページを参照してください。
⑨	RESET/START ボタン	計数のスタートや計数表示部のリセットを行うボタンです。
⑩	テンキーボタン	バッチ枚数の設定や、設定の変更時に使用するボタンです。

ご使用する前に

ご使用する前に、次の内容をよく確認した上でご使用ください。

尚、本製品は机の上等水平な場所に置いてご使用ください。

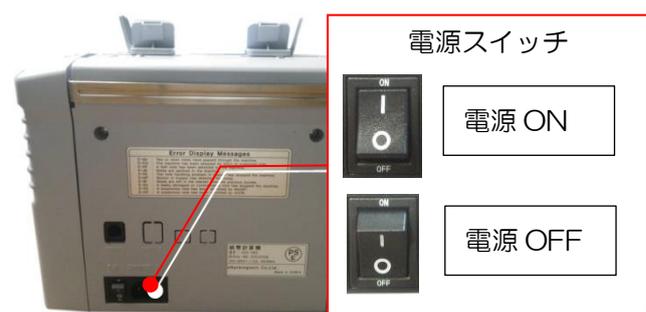
装置の下側が平らではない場合や、不安定な場所では、誤動作や故障の原因となります。

電源の投入方法

本製品を使用するときは、
電源スイッチを ON(|]側を押下)にしてください。

本製品の使用を終了するときは、装置の電源スイッチを
OFF([○]側を押下)にしてください。

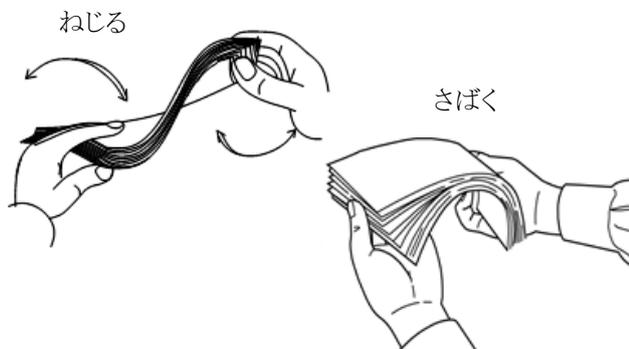
- △ 計数中は電源を OFF しないでください。
装置が故障する場合があります。



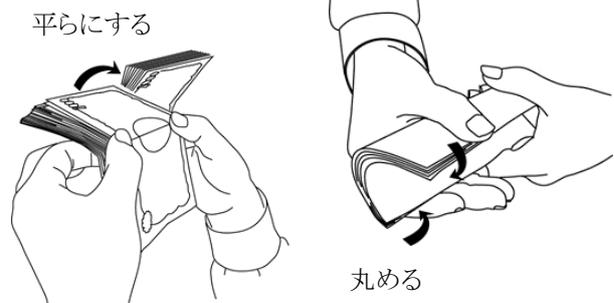
セットする紙幣について

- △ 折れている紙幣や湾曲している紙幣をセットしないでください。詰まりの原因になります。
セットする前に必ず折れや湾曲等のくせを直してください。
- △ 新しい紙幣や官封券を、そのままセットしないでください。2枚送り等の原因になります。
新しい紙幣や官封券は、下図を参照し、よくほぐしてからセットしてください。
- △ 過度の汚れや油がついている紙幣をセットしないでください。詰まりや故障の原因になります。
- △ テープが貼られている、破れている、水に濡れている紙幣をセットしないでください。故障の原因になります。
- △ クリップ、コイン、輪ゴム、紙くず等の異物がついたままセットしないでください。故障の原因になります。セットする前に異物が無い事を確認してください。

新しい紙幣や官封券をセットする前に…
新しい紙幣や官封券をホッパーにセットする前に
何度か札をねじって、さばいてから行ってください。



折り曲がった紙幣をセットする前に…
折り曲がった紙幣をホッパーにセットする前に、
折り目の反対に曲げて、長手方向に丸めてから行ってください。



紙幣のセット方法について

紙幣をセットする前に、計数する紙幣の長さに合わせ、ホッパーガイドを左右に調整してください。

調整する場合は、両手で左右のガイドの両方持ち、左右にずらしてください。

- ⚠ 過度の力で行うと破損する場合があります。
- ⚠ ホッパーガイドを調整せずに使用した場合、紙幣詰まりや誤搬送の原因となります。



セットする紙幣の長辺、短辺方向をそろえて、ホッパーにセットしてください。

- ⚠ 紙幣をそろえずに使用すると、紙幣詰まりの原因となります。
- Ⓜ 紙幣をそろえても、正常に搬送されない場合、厚み調整ネジにて紙幣挿入口を調整してください。
- ⚠ ホッパーに 300 枚以上紙幣をセットしないでください。故障の原因となります。

厚み調整ネジで紙幣挿入口を調整する

ホッパーから搬送しない(取り込み状態が悪い)場合は、厚み調整ネジにて挿入口を調整してください。

次の内容は発生した場合、挿入口が狭い可能性があります。

- 🔗 厚い紙幣を計数する場合
- 🔗 紙幣がホッパーから搬送ができない場合
- 🔗 ホッパーから搬送する速度が遅い場合

コイン等を使用して、プラス方向(時計回り)に厚み調整ネジを回し、挿入口を広くしてご使用ください。



次の内容は発生した場合、挿入口が広い可能性があります。

- 🔗 薄い紙幣を計数する場合
- 🔗 紙幣が一度に2枚搬送されてしまう場合
- 🔗 「E-db」「E-CH」のエラーが多発する場合

コイン等を使用して、マイナス方向(反時計回り)に厚み調整ネジを回し、挿入口を狭くしてご使用ください。



ご使用方法

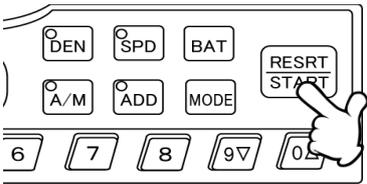
本製品は、通常計数モード、バッチ計数モードの2種類の計数処理を行う事ができます。各モードは加算計数機能を併用する事ができます。計数モードの切り替えは **BAT** ボタンまたは **テンキー** ボタンにて行います。

通常計数モード

通常計数モードはホッパーにセットした紙幣全てを計数するモードです。

通常計数モードはバッチ表示部の表示が「0」になっている状態です。

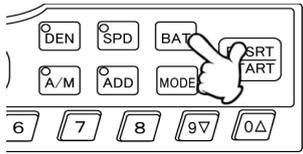
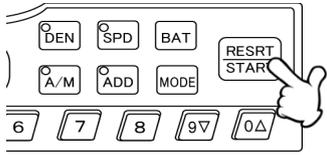
「0」以外の数字が表示されている場合、**BAT** ボタンを押し、表示を「0」にしてください。

<p>① 計数する紙幣をセットし、RESET/START ボタンを押してください。</p> <p>目 搬送方法が AUTO になっている場合、計数する紙幣をセットしたら自動的に搬送を開始します。詳しくは 12 ページを参照してください。</p>		
<p>② 計数表示部に計数した合計が表示されます。スタッカーに排出された紙幣を取り出して下さい。</p> <p>目 連続して計数する場合、計数表示部の表示方法は加算処理機能の有効/無効で変わります。詳しくは 11 ページを参照してください。</p>		

バッチ計数モード

バッチ計数モードは設定した枚数で、計数を一旦停止する計数するモードです。

バッチ計数モードは、バッチ表示部の表示が「0」以外になっている状態です。

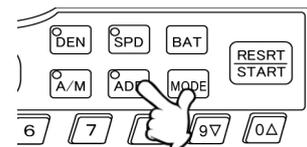
<p>① 一旦停止を行う枚数を設定します。</p> <p>任意の枚数を使用する場合</p>	<p>テンキーボタンにて設定枚数を入力してください。</p>	
<p>プリセット枚数を使用する場合</p>	<p>BAT ボタンを押してください。</p> <p>■ プリセット枚数の初期値は「100」になります。プリセット枚数の設定を変更する方法は、13 ページを参照してください。</p>	
<p>② 計数する紙幣をセットし、RESET/START ボタンを押してください。</p>	<p>■ 搬送方法が AUTO になっている場合、計数する紙幣をセットしたら自動的に搬送を開始します。詳しくは 12 ページを参照してください。</p>	
<p>③ バッチ表示部に表示されているバッチ枚数を計数、またはホッパーの紙幣を全て計数すると、計数処理を一旦停止します。</p> <p>ホッパーに紙幣が残っていて、続けて計数を行う場合には死すタッカーから紙幣を取り出した後、RESET/START ボタンを押してください。</p>	<p>■ 搬送方法が AUTO になっている場合、スタッカーから紙幣を取り出した後、自動的に搬送を開始します。詳しくは 12 ページを参照してください。</p> <p>■ 計数表示部の表示方法は加算処理機能の有効/無効で変わります。詳しくは 11 ページを参照してください</p>	

加算処理機能を有効にする

本製品の電源を ON にした状態で、ADD ボタンを押してください。

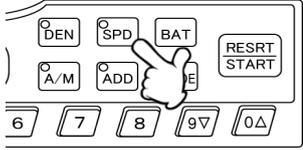
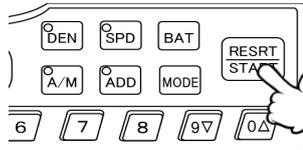
加算処理機能が有効の場合、ボタン左上のランプが赤く点灯します。

- 計数表示部の表示をクリアする場合は、ホッパーに紙幣が無い状態で RESET/START ボタンを押してください。
- バッチ計数モードで、設定枚数以下しか計数されない場合、加算処理を行いません。



搬送速度の設定を変更する

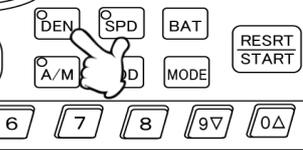
本製品は搬送速度を、約 1,000 枚/分、約 1,200 枚/分、約 1,300 枚/分、約 1,500 枚/分の 4 種類から選択することができます。紙幣の詰まり等が多発する場合は、搬送速度を遅くしてご使用ください。

<p>① 本製品の電源を ON にした状態で SPD ボタンを押してください。</p> <p>現在設定されている搬送速度が表示されます。</p>	
<p>② SPD ボタンを押す毎に設定が切り替わります。 ※1,000⇒1,200⇒1,300⇒1,500⇒1,000…と切り替わります。</p>	
<p>③ RESET/START ボタンを押してください。</p> <p>搬送速度の設定が完了です。</p>	

搬送速度を 1,300 枚/分にする

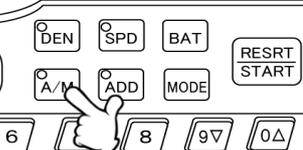
本製品は、通常の搬送速度と搬送速度 1300 枚/分を切り替えてボタン一つで切り替えて使用することができます。チケット等、1,500 枚/分で計数すると、詰まってしまう場合、本機能にて搬送速度を 1,300 枚/分にしてご使用ください。

■ 通常の搬送速度を 1,300 枚/分に設定している場合、有効にしても搬送速度は変わりません。

<p>本製品の電源を ON にした状態で、DEN ボタンを押してください。</p> <p>搬送速度が 1,300 枚/分が有効の場合、ボタン左上のランプが赤く点灯します。</p>	
---	---

自動搬送機能を有効にする

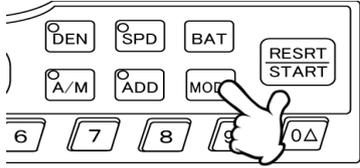
自動搬送機能を有効にすると、ホッパーに紙幣をセットすると自動的に搬送を開始することができます。

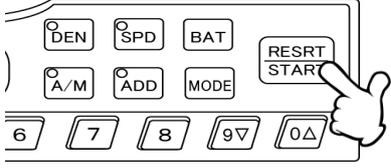
<p>本製品の電源を ON にした状態で、A/M ボタンを押してください。</p> <p>自動搬送機能が有効の場合、ボタン左上のランプが赤く点灯します。</p>	
--	---

設定

各種設定を変更する

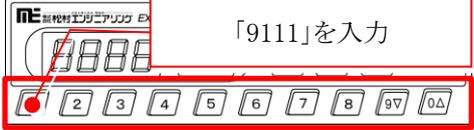
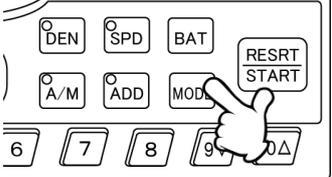
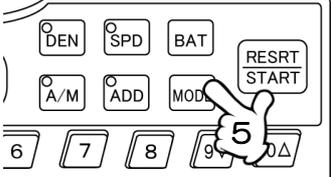
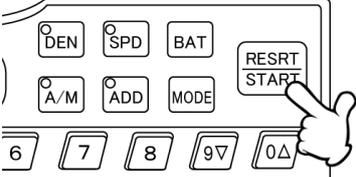
次の手順にて、各種設定を変更する事ができます。

<p>① 設定を行うには、設定モードに移行する必要があります。</p> <p>本製品の電源を ON にした状態で MODE ボタンを 5 回押してください。</p>	
<p>② 設定モードに移行すると、計数表示部に「dAtA」、バッチ表示部に「Set」が表示されます。</p>	
<p>③ 本製品では無効の設定です。</p> <p>☼ デフォルト:L-A</p> <p>②の状態では MODE ボタンを押すと、計数表示部に「Ed-A」、バッチ表示部に「現在の設定」が表示されます。</p> <p>本設定は変更しないでください。</p>	
<p>④ 高さ(縦幅)検出レベルの設定</p> <p>☼ デフォルト:L-3</p> <p>③の状態では MODE ボタンを押すと、計数表示部に「SS-A」、バッチ表示部に「現在の設定」が表示されます。</p> <p>最初に入った紙幣を基準とし、本設定で設定された以上の高さ(縦幅)が異なると、エラーにてお知らせします。</p> <p>9▽と0Δにて設定を変更できます。</p> <p>設定範囲:0・3~9</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 設定を 0 にすると高さ(縦幅)検出は無効になります。 ■ 設置値の単位はmmになります。設定を L-3 にすると 3mm 以上高さが違うとエラーが表示します。 	
<p>⑤ バッチ計数モードのプリセット枚数の設定</p> <p>■ デフォルト:100</p> <p>④の状態では MODE ボタンを押すと、計数表示部に「bt-A」、バッチ表示部に「現在の設定」が表示されます。</p> <p>テンキー ボタンで設定したい枚数を入力してください。</p>	

<p>⑥</p>	<p>アラーム(ブザー)の有効/無効の設定</p> <p>目 デフォルト:On2</p> <p>⑤の状態では MODE ボタンを押すと計数表示部に「bu-A」、バッチ表示部に「現在の設定」が表示されます。</p> <p>9▽と 0△を押すと、バッチ表示部の表示が変わり設定を変更する事ができます。</p> <p>On1:エラーアラームのみ有効 On2:全てのアラームが有効 OFF:無効</p>	
<p>⑦</p>	<p>スタッカーアラームの鳴動開始時間の設定</p> <p>目 デフォルト:30</p> <p>⑥の状態では MODE ボタンを押すと計数表示部に「St-A」、バッチ表示部に「現在の設定」が表示されます。</p> <p>計数後、本設定で設定した時間、スタッカーに紙幣を置いておくと、アラームが鳴りますが、一定時間置いておくと、アラームを鳴らす事ができます。</p> <p>9▽と 0△を押すと、バッチ表示部の表示が変わり設定を変更する事ができます。</p> <p>0 秒～99 秒の間で設定できます。</p> <p>目 0 にすると、スタッカーアラームは鳴らなくなります。</p>	
<p>⑧</p>	<p>ホッパーアラームの鳴動開始時間の設定</p> <p>デフォルト:10</p> <p>⑦の状態では MODE ボタンを押すと計数表示部に「HP-t」、バッチ表示部に「現在の設定」が表示されます。</p> <p>計数後に、スタッカーから紙幣を取らずに本設定で設定した時間後に、ホッパーに紙幣を置くと、エラーを表示する事ができます。</p> <p>0 秒～99 秒の間で設定できます。</p> <p>目 0 にすると、ホッパーアラームは鳴らなくなります。</p> <p>次に MODE ボタンを押すと③に戻ります。</p>	
<p>⑨</p>	<p>設定を保存して終了する。</p> <p>②～⑧の状態では RESET/START ボタンを押してください。</p> <p>計数表示部に「dAtA」、バッチ表示部に「Set」と表示されますので、もう一度、RESET/START ボタンを押してください。</p>	

各種設定を初期化する

設定した内容を初期値に戻すことができます。(初期値については、13 ページを参照してください。)

①	<p>本製品の電源を ON にした状態で テンキー ボタンにて 9→1→1→1を押してください。</p>	
②	<p>計数表示部に「0000」 バッチ表示部に「oF1」 が表示されます。</p>	
③	<p>MODE ボタンを 5 回押してください。</p>	
④	<p>計数表示部に「0000」 バッチ表示部に「501」 が表示されます。</p>	
⑤	<p>MODE ボタンを 5 回押してください。</p>	
⑥	<p>計数表示部に「AE-5」 バッチ表示部に「501」 が表示されます。</p>	
⑦	<p>⑥が表示されてから約2秒後に 計数表示部に「0000」、バッチ表示部に「oF1」 が表示されます。</p>	
⑧	<p>RESET/START ボタンを押してください。</p>	
⑨	<p>計数表示部に「Eb-0」、バッチ表示部に「H48」が 約1秒間表示され、設定が初期化され通常画面に戻ります。</p>	

エラーコード

主なエラーコードと対処方法は次の通りになります。記載の無い内容のエラーコードが表示された場合、または、対処方法を行っても改善されない場合は、ご購入頂いた販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因	対処方法
E-db	一度に2枚の紙幣が搬送しました。	厚み調整ネジで紙幣挿入口を調整してください。 詳細は、9ページを参照してください
E-CH	一度に2枚以上の紙幣が搬送しました。	厚み調整ネジで紙幣挿入口を調整してください。 詳細は、9ページを参照してください。
E-HF	紙幣の横幅が本製品対応可能サイズより短いです。	紙幣が折れ曲がる、または計数する紙幣の中に異物が入っていないか確認してください。
E-JA	本体内部に紙幣が詰まりました。	ホッパーとスタッカーの紙幣を取り除いた後、 RESET/START ボタンを押し、紙幣を排出してください。それでも、紙幣が取り除けない場合は、18ページを参照し、紙幣を取り除いてください。
E-HP	ホッパーセンサが汚れています。	ホッパーセンサをクリーニングしてください。 詳細は、17ページを参照してください。
E-St	ホッパーアラームまたはスタッカーセンサが汚れています。	スタッカーから紙幣を取り除いてください。 ホッパーアラームの設定を変更する場合は、13ページを参照して設定を変更してください。 それでも改善されない場合は、スタッカーセンサをクリーニングしてください。詳細は、17ページを参照してください。
E-C1	左計数センサが汚れています。	計数センサをクリーニングしてください。 詳細は、17ページを参照してください。
E-C2	右計数センサが汚れています。	計数センサをクリーニングしてください。 詳細は、17ページを参照してください。
E-C3	左右両方の計数センサが汚れています。	計数センサをクリーニングしてください。 詳細は、17ページを参照してください。
E-Pr	紙幣の右側が斜めに搬送されました。	ホッパーガイドを調整してください。 詳細は、9ページを参照してください。
E-PL	紙幣の左側が斜めに搬送されました。	ホッパーガイドを調整してください。 詳細は、9ページを参照してください。
E-dd	最初に通した紙幣に比べ、高さ(縦幅)が異なる紙幣を検出しました。	紙幣を確認してください。高さ(縦幅)が異なる紙幣を同時に計数する場合は、13ページを参照して設定を変更してください。
E-tE	紙幣の縦幅が本製品対応可能サイズより短いです。	紙幣が折れ曲がる、または計数する紙幣の中に異物が入っていないか確認してください。

メンテナンス

クリーニング方法

本製品を万全な状態でご使用いただく為に、定期的なクリーニングを行ってください。

クリーニングをするときは、必ず電源を OFF にしてください。

水または中性洗剤以外の薬剤、洗剤等は使用しないでください。

また、水または中性洗剤を直接本製品にかけないでください。故障や誤動作の原因となります。

本体の表面のクリーニング

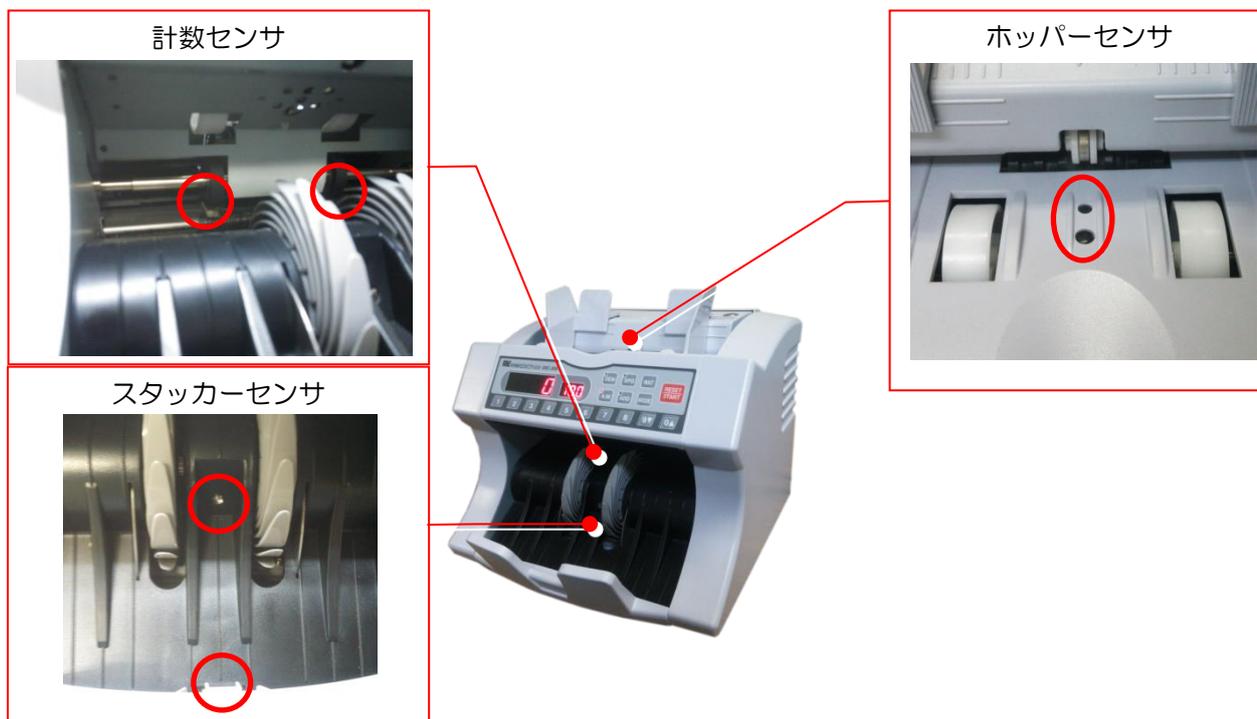
柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を湿らせ固くしぼったもので拭いたあと、柔らかい乾いた布で拭いてください。

センサのクリーニング

ホッパーセンサ、スタッカーセンサ、計数センサを、繊維くずの出ないきれいな柔らかい乾いた布または乾いた綿棒で拭いてください。

△ 過度の力でクリーニングすると故障の原因になります。

■ 計数センサは、手が入らない場所にありますので、乾いた細い綿棒を利用してクリーニングしてください。



紙幣が内部に詰まってしまった場合には

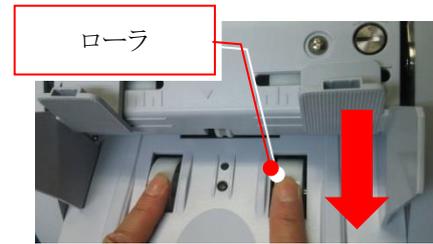
搬送中に何かしらの事由により、内部に紙幣が詰まってしまった場合には、次の手順にて紙幣を取り除いてください。

ローラを手前に回してください。

ローラを2～3回転させますと、紙幣が挿入口より排出されます。

紙幣を取り除いた後は、**RESET/START** ボタンを押し、エラー表示をクリアしてください。

△ ローラに油や汚れが付着すると搬送不良の原因となります。万一に手が汚れている場合は、手洗いしてから行ってください。



ローラを回しても紙幣が排出されない場合は、本製品の電源を OFF にし、ホッパーを開けて取り除いてください。

ホッパーは挿入口を指で持ち、上に持ち上げると開ける事ができます。

ホッパーを開けた後、詰まった紙幣を手で取り除いてください。

△ ホッパーを自動的に閉まる様になっております。ホッパーを開閉する時には手を挟まない様に、注意して行ってください。



仕様

項目	仕様
主要電源	入力電圧:AC100V 周波数 :50/60Hz
消費電力	動作時 最大 40 W
サイズ	255(H) X 270(W) X 260(D) mm (突出部除く)
重量	約 6 kg
計数可能紙幣サイズ	横:100～185mm 縦: 60～100mm
スピード	標準 :約 1,000 枚/分 高速 1:約 1,200 枚/分 高速 2:約 1,300 枚/分 高速 3:約 1,500 枚/分
ホッパー容量	約 300 枚
スタッカー容量	約 300 枚

株式会社松村エンジニアリング

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-18-4

電話:03-6858-6611

FAX:03-6858-6711

URL:<http://www.matsumura-eng.com>